



みえを歩こう

緑滴る小径から絶景の展望台へ

伊勢市

ロマンの森伊勢三郷山

さんごうやま

今回のコースは、伊勢市の「ロマンの森伊勢三郷山」です。宮川沿いのバス停をスタートし、山頂近くの展望台まで上り、中腹の道を周遊して戻ります。

三郷山は標高142.3メートルという小さな山ですが、ゆたかな緑の間を歩く小径は歩きやすく整備され、起伏に富んだ複雑な地形を活かしていくつかの休憩ポイントが造られています。また、山頂近くの展望台から見る風景は、伊勢のまちを眼下に、伊勢湾を越えて知多半島や伊良湖岬にまでおよぶ大パノラマ。昭和61(1986)年に林野庁などが選定した「森林浴の森日本100選」にも選ばれ、市民の憩いの森となっています。

緑陰を抜ける風の中、多彩な植物が織りなす近景と、時折広がる遠景を楽しみながら歩きます。

取材・文：堀口裕世

宮川の畔からスタート

バス停「大倉うぐいす台」は、外宮前の賑わいを離れてすぐの宮川右岸にあります。バス停から、伊勢南島線(県道22号)を宮川の土手を左に見ながら少し進むと万所橋東の信号に。ここを右折すると、前方に三郷山の緑が見えます。緩やかな坂道を登っていくと、左手に「ロマンの森伊勢三郷山登り口」の看板がいよいよ山に入ります。

しばらくは幅の広い舗装路で、15台分の駐車場があります。ここを過ぎると



登り口の看板



水道タンク越しの遠景



「つどいの広場」



「三郷山記念碑」

道は右へのヘアピンカーブ。カーブの途中にある車止めからは歩行者だけの道となります。左に右にと大きく曲がる坂道が上がっていくと、4つめのカーブ付近に2基の巨大な水道タンクがあります。振り返ると、宮川の両側に田園地帯が広がり、遙か向こうに度会の山並が続いているのが見えます。

伊勢市浦口町の町有林

しばらく坂を登ると「つどいの広場」という最初の休憩ポイントに出ます。ここには「ロマンの森」の案内図と、「三



■ 行程図 所要時間／約2時間40分 ※所要時間は、おおよその目安です。

START	バス停「大倉うぐいす台」	約400m	「ロマンの森 伊勢三郷山 登り口」看板	約650m	「つどいの広場」	約240m	「いこいの広場」	約330m		
	約1.7Km	「若人の広場」	約50m	「学校の森」	約220m	「子供の丘」	約1Km	「ふれあいの広場」	約500m	「こかげの広場」

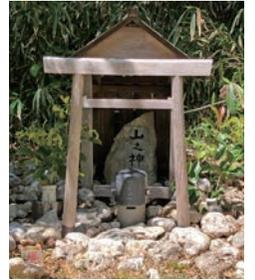
郷山記念碑」と彫られた石碑があり、石碑によるとこの場所は、江戸時代には「上三郷」と呼ばれる地域の所有で、明治時代に浦口町が買収し、荒廃や乱開発を避けるため環境保全整備事業の採択を受け、市民に開放されているそうです。伊勢市役所であったところ、県の事業として整備されたのが昭和54(1979)年で、現在も浦口町の町有林とのことでした。故郷の山を美しい自然のままに残したいという地元の人々の思いが重なって、この山が豊かな緑とともに残されているのです。



「いこいの広場」



「こかげの広場」



「山の神」の祠



「ふれあいの広場」の展望台



「方角石」



遙かに続く宮川側の眺望

案内図で散策ルートを頭に入れ、この森に込められた多くの人の思いを感じとったところで、再びコースへ。少し歩くと石段があり「いこいの広場」の看板が。石段の上は芝生の広場になっていて、東屋やお手洗いなども建てられています。

「いこいの広場」を過ぎてすぐに道は二つに分岐。右側の稜線を行く道がメインルートの舗装路で、左に向かうと「中腹散策コース」。往路はメインル―

抜群の眺望に歓声が―

少し進むと木陰に小さな祠が。鳥居越しに山の神に手を合わせさらに歩いて行くと、実の成る木がたくさん植えられた「野鳥の森」。小鳥の鳴き声もひときわ賑やかに聞こえます。また少し登ると「こかげの広場」。ここも東屋のある休憩ポイントで、この辺りから道幅が少し狭くなります。

遠く鈴鹿山脈や養老山地の山並も見えるでしょう。広々とささぎるものない光景に心が解放されるようです。「伊勢神宮奉納全国花火大会」の打ち上げ場所も近く、地元では撮影スポットとしても知られています。

めざせ「若人の広場」

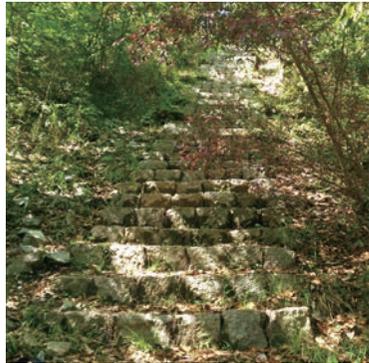
さらに先に進めば、逆方向の朝熊ヶ岳方面の風景が見える展望台があり、周遊するルートもあります。今回はここで引き返し、「子供の丘」「学校の森」「若人の広場」をめざします。「ふれあいの広場」から3分くらいの



「子供の丘」



「学校の森」



「いこいの広場」へ向かう「中腹散策コース」の石段

所に石段があり、これを下りると舗装のない「中腹散策コース」。尾根の道よりもさらに深い木々の中を進みます。かなり急な斜面の中を通る、くねくねと曲がった道なので注意が必要ですが、滴るような緑の中の小径はまさに癒やし。森林浴の効果抜群です。

標識に従って進み、石段を上ると「子供の丘」。丘を下りて元の道に戻り、再び石段を上ると「学校の森」に出ます。ここにある藤棚やソテツなどの木々は、伊勢市内の小・中学校の子どもたちが植えたとのこと。「若人の広場」へは、そこからさらに石段を上がります。下からは

真つすぐな石段が見えるのですが、上がってみると斜め右方向に上がる石段があり、踊り場を経てさらにもう一つ石段が続きます。三層になった石段を上り切って「若人の広場」にたどり着けば、脚力は若人だと証明された気分になれるでしょう。

季節を感じながらゆっくり

石段を下りて帰路。この後に待っているのが一番段数の多い石段です。段差が大きく、しかも長いので、ゆっくり休みながら上りましょう。上り切れば「いこいの広場」に出ます。後は坂を下り、スタート地点のバス停に戻ります。

紅葉の美しい木々を集めた「秋の森」、春先に咲く木を集めた「早春の森」と呼ばれるエリアもあり、草花も彩り豊かです。十分に時間をとって、風景も、植物や鳥の声なども楽しみながら歩くのがお勧めです。

問 伊勢市産業観光部農林水産課

TEL 0596-21-5648